

# プロッタ新モデルを発表

トヨテック

## 卓上シートモデルと 高速ロール型の2種 高速化を実現

（株）トヨテック（千葉県野長）はこのほど、シートタイプ  
田市西三ヶ尾、豊田保社）の卓上型方ッティング



2ヘッドの高速タイプ「DG350S22-TT」

プロッタの新製品を発表。2ヘッドを搭載して高速でラベルのカット加工を行う「DG350S22-TT」がラインアップに加わった。

同社はシート・ロール双方のカッティングプロッタやカッター類のほかに、ニスやプライマーを塗工する塗工機などを提供。プロッタに関しては、エントリーモデルから多ヘッド搭載の高生産モデルまで用途や目的、予算に応じた製品群をそろえている。

今回発表した新機種は、2ヘッド構成で2列同時加工を行う点特徴。最大毎秒1600ミのカット速度

のもと、ヘッドごとに全抜き・半抜きを別々に施すなどといったより生産効率を高めた運用もできる。また筋入れツールを使うことで、薄紙パッケージに筋を入れながら全抜きを施すといった運用も可能。試作から少・中量まで広く対応する、シールと紙器の兼用機と位置づける。

シートは最大B3サイズに対応し、自動給紙機能付き。カットエリアは350×500ミで、本体サイズは840(D)×1130(W)×625(H)ミとなっている。機械重量は43キ。

また同社は今回、ロール・シート・ロールタイプのスタ

ンドアロン型新モデルも同時リリースした。

同機の最大の特徴は、12本のカッター刃が同時に動作する点。カット速度は毎分最大27ミと高速化を果たし、同社の従来機に比べて大幅な処理能力の向上を実現している。また従来機同様にPP貼りやスリット、シートカットなどの加工にも対応するほか、新モデルでは新たにスリットした端材の回収機構も追加。廃棄処理も効率的と、同機1台で後加工工程を完結できる仕様となっている。

同機について担当者は「安定性を重視したエントリーモデルを2022年に先行投入。実績を積み重ね、段階を踏んで高速モデルの投入を計画していた。開発自体は当初からエントリー機と同時並行で進めてきており、今回満を持して公開に至った」とコメント。同機はすでにプロトタイプ機を用意しており「本社工場での動作確認も可能」だという。

両機の間合わせは同社（☎04712110755）まで。